

未来へつなぐ、みやざきの海のバトン



日知屋小と海のリレープロジェクト 第3回目のプログラムを実施

2026年7月1日(水) 【場所】日向市お倉ヶ浜海水浴場



概要

「海のリレープロジェクト」は、日向市教育委員会と連携し、日向市立日知屋小学校の6年生31名を対象に「日知屋小と海のリレープロジェクト」をスタートしました。

本プロジェクトでは、『豊かな宮崎の海を未来へ残していきたい』という想いのもと、5月から7月までの期間、複数回にわたって校外学習や実体験、専門家による講話など、多彩なカリキュラムを通じて海の現状を学習します。

■学習のテーマ

【海のことを知って、楽しく遊ぼう！】

講師：日向市サーフィン連盟の皆さん、日向海上保安署の職員

これまでは、宮崎の海の特徴を学んだり、海のさまざまな生物について学んだりと海について理解を深めてきました。この日は地元の海を身近に感じてもらおうと、学校から車で10分ほどの距離にある日向市お倉ヶ浜海水浴場へ行き、サーフィン体験と水難事故に備えた講習を行いました。

1. 出発式

「日知屋小と海のリレープロジェクト」では初の校外学習。

児童たちとバスに乗って海へ向かう前に、あるサプライズを行いました！

山崎アナウンサー「今日はみなさんにプレゼントがあります……！日知屋小と海のリレープロジェクトのオリジナルTシャツをつくりました！これを着て、これから海へ向かいたいと思います。」

Tシャツを見た児童たちはとても嬉しそうに手を叩き、喜んでいる様子でした。一人ずつTシャツを受けとり、バスに乗り込みます。



2. サーフィン体験をしよう！

学校からバスで10分ほどで到着。

お倉ヶ浜海水浴場は、南北約4kmにわたる白い砂浜と美しい松林が広がる「日本の渚百選」にも選ばれた景勝地で、全国屈指のサーフィンの聖地として知られており、世界大会も開催されるほど豊かな波質に恵まれています。サーフィンを通して海を体感してもらい、地元の海を身近に感じてもらえたら・・・そんな想いを込めて、お倉ヶ浜へやってきました。



子どもたちを出迎えてくれたのは、日向市サーフィン連盟のメンバーのみなさん。

日向市サーフィン連盟とは、日向市におけるサーフィンの普及発展を目指して活動を行っており、小学生を対象としたサーフィン教室のほか、各種大会の運営、海岸の清掃活動なども行っています。

理事長の甲斐俊作さんから「海を怖いと思ったら、無理に入らなくても大丈夫です。ゆっくり自分のペースで楽しみましょう！」と話しました。



さあ、いざ体験へ！

初めに準備体操を行ったあと、サーフボードの乗り方や進み方を陸の上で教わりました。

砂浜にボードに見立てた絵をかき、そこでパドリングのやり方、ボードの立ち方などを練習し、いよいよ本番！緊張する子どもや不安になる子がいるかと思いきや・・・！みんなとても楽しそうに積極的に参加する様子が見られました。あっという間にボードの上に立って、上手に波にのる姿をみていると、子どもたちの適応の高さに関心しました。



2. 海の危険を知って、安心安全に楽しもう！

宮崎県はサーフィンが盛んな地域ですが、毎年、沖に流されるなどの水難事故が後を絶たないのも事実です。海が身近にある子どもたちだからこそ、正しい知識を持って安心・安全に楽しんでもらうため、今回は日向海上保安署の職員をお招きし、海の危険に関する講習を行いました。

講習では、特に注意が必要な「離岸流（りがんりゅう）」のメカニズムや対策について、詳しく学びました。

離岸流とは？

波打ち際から沖に向かう流れのことで、海水浴やサーフィン中に巻き込まれると、溺れたり沖合まで流されたりする大変危険な現象です。ここお倉ヶ浜の海岸は絶好のサーフポイントですが、波が良い場所ほど海水が岸に押し寄せるため、その海水を沖に戻そうとする力が働き、結果として強い離岸流が発生しやすくなります。

講習では、万が一離岸流に飲み込まれてしまった場合の対処法や、溺れている人を見つけた際の救助方法、そして、そうならないための事前の対策を詳しく教えてもらいました。

最後に、日向海上保安署の職員からは、「さまざまな危険があると認識した上で、より安全に楽しんでほしいです」と、子どもたちへ大切なメッセージが伝えられました。



▼感想

【参加した児童】

- ・ 離岸流という現象を初めて知った。海は楽しいけれど、今日習ったことを思い出して海で遊ぶときは気を付けながら楽しみたい
- ・ いつもはできないサーフィンなどができて、楽しかった。また海に遊びに来たい。



【日向市サーフィン連盟 理事長 甲斐さん】

- ・ 海が怖いという感覚は悪いことではない。海の怖さも忘れずに安全に楽しんでもらいたいです。

・



山崎 直人 (やまざき なおと)

MRT 宮崎放送アナウンサー



本プロジェクトは、“海”を次の世代へリレーしていく取り組みです。

宮崎が誇る豊かな海を未来へ受け継ぎ、30年後、50年後、そして100年後も変わらぬ海を守り続けることを目指しています。海洋教育プログラムやビーチクリーン活動、情報発信などを通して、地域社会と連携しながら、“海”という名のバトンを未来へつないでいきます。

mrt宮崎放送